

若き天才ピアニスト

外山啓介 & セントラル愛知 「ビューティフル・クラシック」

繊細で色彩豊かな音色を奏でる若手ピアニスト「外山啓介」と創立25周年、質の高い演奏がさえる「セントラル愛知交響楽団」のコラボレーションでつづる美しいクラシックのプログラムをお届けします。

【演奏曲目】 指揮：角田鋼亮

- モーツァルト／「フィガロの結婚」より序曲
- ヴォーンウィリアムス／グリーンズリプス幻想曲
- ヴィヴァルディ／四季より「春」(ヴァイオリン・ソロ／高橋律也)
- ドヴォルザーク／ユモレスク
- ショパン／ピアノ協奏曲(コンツェルト)第1番

と き 平成20年3月30日(日) 午後3時開演

ところ サンホール

入 場 料 一般2,000円 学生1,000円(当日500円増)

※未就学児の入場はできません。

全席自由



© Shigeto Imura

大好評発売中!

チケット取扱窓口

文化プラザ窓口：午前9時～
チケットぴあ：午前10時～(☎0570-02-9999 Pコード:277-341)
各支所・市内郵便局・多治見市文化会館・瑞浪市総合文化センター

西高東低の冬型気圧配置の日は多くなり、冷たい風の吹く季節になってきました。大気現象の源は空気の流れ、すなわち風です。風が変われば天気が変わります。そして、目に見えない風を読むための手掛かりが雲なのです。

中村和郎『雲と風を読む』で、著者は中谷宇吉郎の名言「雲は天から送られた手紙である」を引用しながら、雲もまた、天からの手紙であると説きます。雲の分類、地域的な風の特性などを、図版や写真をたっぷり使ってやさしく解説するとともに、雲と風にまつわる文学作品やさまざまなエピソードを織り交ぜ、生活の中の風から地球規模の雲の動きまで、身近であり、かつ雄大な雲と風の読み方を紹介します。なお、本書は19



雲を見る

読書の小径

図書館だより

こみち

No.56

市図書館 ☎ 55 1253

91年に刊行された図書の新装ワイド版です。

「もし、くるともくるとも青一色の空を見せられたら、人生は退屈だ」と書くのは、イギリスでベストセラーとなった『「雲」の楽しみ方』の著者ギャヴィン・プレイター・ピニー氏。彼は「雲を愛でる会」を2004年に設立。ウェブサイトは、公開1年で世界25カ国の1800人が会員となり、多くの珍しい雲の写真が寄せられているそうです。本書は、雲の外観と発生メカニズムや、雲についての逸話、雲にまつわる子供のころの思い出などを収録。雲のアートと科学の話を交えた、雲を眺めるのが好きになる本です。

山田圭一『雲の世界』。雲の表情豊かな姿は、千変万化です。地上から見上げる雲、山の雲、空から見る雲、人工衛星から見える雲など、ミク

1月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

※ が休館日です

図書館の	火～金曜日	10:00～19:00
開館時間	土・日曜日、祝・休	10:00～17:00



□からマク□まで、さまざまな角度から見た美しい雲の世界を260枚にもおよび写真で紹介しています。

※図書館のご利用は無料です。